

【エシカル消費啓発テキスト】

今まで知らなかった大切なことば



エシカル消費をしっかりと
実践する！

鳥取県消費生活センター

1

はじめに

今、世界各地では、さまざまな環境問題や社会問題が発生し、日本でも異常気象による風水害、PM2.5などの飛来による大気汚染、東京一極集中による地域社会の衰退など、さまざまな問題が起こっています。

私たちは、今のままの生活を続けていても大丈夫でしょうか。地球環境や地域社会を守り、未来につなげていくために、私たちは何をすべきでしょうか。

実は、みなさんの日々の買い物を通じて、環境や社会をより良い方向に変えていける有効な手段があるのです。

それが、「エシカル消費」と呼ばれる行動です。一人ひとりの思いやりと責任のある買い物で、今の環境のみならず、将来の世代や地域の振興に貢献できるのです。

目次

1	はじめに	1
2	エシカル消費って何？	2
3	なぜ、今、エシカル消費なの？	4
4	影響をしっかりと考えた買い物で社会と未来が変わる！？	6
5	エシカル消費って、どうすればいい？	7
6	鳥取県のエシカル消費啓発の取組み	9
7	おわりに	10

2

エシカル消費って何？

エシカル消費とは、「環境、人や社会、地域にやさしい商品やサービスを選ぶ“思いやり”のある買い物のしかた」のことです。

「環境にやさしい商品を選ぶ」とは、たとえば、環境のことを考えた製品に付けられるエコマーク付きの商品や、農薬も化学肥料も使っていない有機農産物を選ぶ、食品ロスを減らすためにお店の陳列棚の手前から商品を選ぶといったことがあげられます。

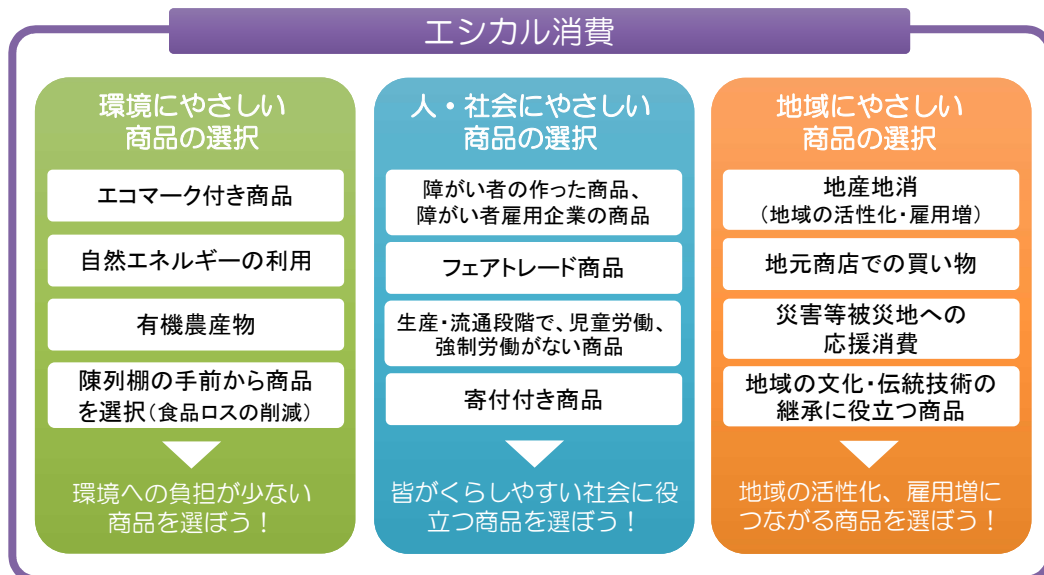
「人や社会にやさしい商品を選ぶ」とは、たとえば、障がい者が携わる安全・安心で高品質な産品や、生産者への適正な価格の支払いや生産者の労働環境を守る等の基準をクリアした製品に付けられるフェアトレードマークの付いた商品を選ぶといったことがあげられます。

また、「地域にやさしい商品を選ぶ」とは、たとえば、地産地消や地元商店での買い物といったことがあげられます。

下にエシカル消費のイメージ図を付けましたので、参考にしてください。

図に書かれたもの以外にも、エシカル消費に当てはまるものはたくさんありますので、皆さんも考えてみましょう。

図1：エシカル消費の分類イメージ



専門家の方々は、「エシカル」について、次のように表現されています。

★ 末吉 里花 氏（一般社団法人エシカル協会 代表理事、フリーアナウンサー）



一般的に言うエシカルとは、法的なしぼりはなくても、多くの人が正しいと思っていること。本来、人間が持つ良心から発生した社会的な規範こそがエシカル。

私が考えるエシカルは、人・社会・地球環境のことを考えた「倫理的に正しい」消費行動やライフスタイルのこと。

〔2015年10月30日 鳥取県主催「エシカル消費啓発シンポジウム」での講演資料から引用〕

★ 原田 さとみ 氏（エシカル・ベネローブ株式会社 代表取締役、フェアトレード名古屋ネットワーク 代表）



私たちの幸せの裏側で、弱者への搾取や地球環境破壊などで、誰かや何かが犠牲になっているとしたら、本当の幸せではありません。物事の背景や裏側に思いを巡らして、社会や環境に優しいか、関わる人みんなが喜んでいるか、人も自然も、地球上のすべての命がハッピーであるよう、思いやる心がエシカルの美意識です。

〔2015年9月29日～30日 鳥取県主催「エシカル消費地区別研修会」資料から引用〕

★ カイラッシュ・サティヤルティ 氏（インドの子どもの権利活動家、2014年ノーベル平和賞受賞）



写真：特定非営利活動法人 ACEホームページから引用

わたしは極めて単純だと思っています。自分にとって良いことが、他の人にとって、また、地球にとって悪いことになれば、それは倫理的です。

自分が人生を楽しんでいても、それが他の人の犠牲やいかなる形であれ、搾取や虐待の上に成り立つものであってはなりません。自然に対する搾取もです。それは起きてはならないことです。自分が人生を楽しんでも世界中で、自然や他人、社会を損なうことがなければ、正しい道であり、倫理的な道を歩んでいるということです。

〔2016年5月16日「平和賞サティヤルティ氏に聞く「児童労働」(NHKキャッチ！ワールドアイ)」から引用〕

Q&A

Q: 「エコ」や「地産地消」という言葉を聞いたことがあるのですが、「エシカル」とは関係があるのですか？

A: 「エコ」や「地産地消」も「エシカル」の考え方に含まれます。環境にやさしい商品、人や社会にやさしい商品、地域にやさしい商品を選んで買い物することは、どれもエシカル消費に含まれます。

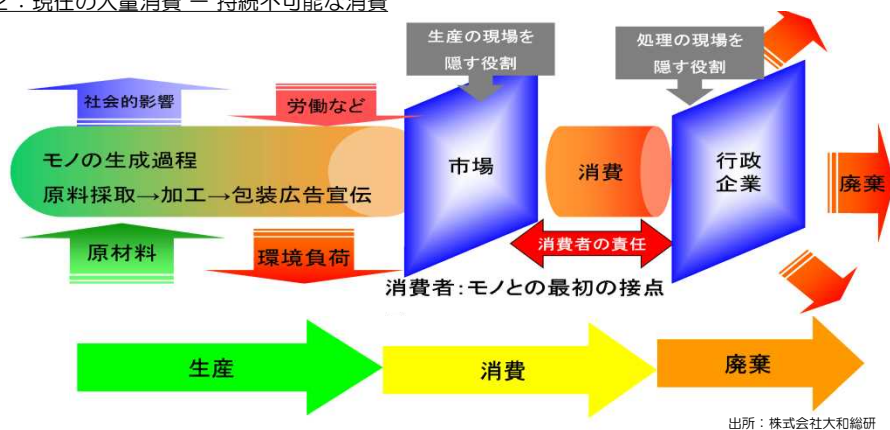
3

なぜ、今、エシカル消費なの？

現在の大量消費社会では、商品の生産や廃棄の現場が、消費者から見えにくくなっています。消費者は、単にお金を通じて商品を購入する存在になり、商品が生産された背景や廃棄後のモノの行方への関心は薄れがちです(図2)。一方で、企業のCMや流行の創造等により、消費者の消費意欲はいつも喚起されています。

このような極端な欲望消費社会では、企業は商品製造コストの削減を追求するあまり、社会的責任の欠如から、排出ガスへの対策放置による大気汚染や熱帯雨林の過剰伐採などの環境問題や、食品偽装や劣悪な環境での強制労働などの社会問題を生じさせることがあります。

図2：現在の大量消費 — 持続不可能な消費



地球上で発生している様々な環境問題、社会問題

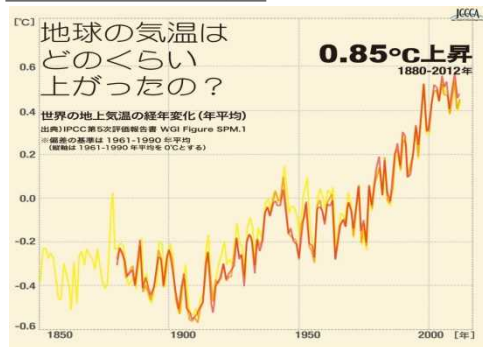
- 気温、海水温の上昇 ⇒ 氷河の縮小、海面上昇による島の沈没、異常気象による災害の発生（ゲリラ豪雨、強大な台風の発生など）、サンゴの白化
- 排ガスによる大気汚染（PM2.5などの微粒子物質、二酸化窒素など）
- 河川・海洋の汚染（廃棄物の不法投棄、汚れた工場排水等の流入）
- 大規模な森林伐採 ⇒ 野生生物の絶滅、地球温暖化
- 海洋資源の乱獲
- 干ばつによる飢餓、食品ロスの増加
- 農薬など有害物質による土壌汚染、農薬使用者の健康被害
- 食品偽装（産地偽装、廃棄食品の悪用）、異物混入
- 過酷な労働環境（低賃金、長時間労働、鉱山等での有害危険労働、児童労働）



日本では、エネルギー資源の多くを石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料に頼り、大量生産・大量消費・大量廃棄を続けてきました。世界の平均気温を見ると、この100年ほどの間に気温は0.85℃上昇しました。これは地球の歴史上、例のない急激な温度変化なのです。

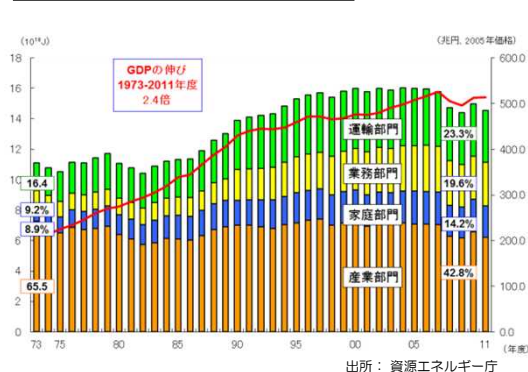
今の日本人のくらしは、地球の自然回復速度の約2.5倍の速さで資源を消費していると言われていています。世界の人口は、今後も増加する見込みであり、世界中の人が日本人のくらしをすると、持続可能な地球環境は望めません。私たちも生活を見直し、社会の一員として、持続可能な地球環境・社会・未来のことを考え、積極的に行動することが今求められているのです。

図3: 世界の地上気温の変化



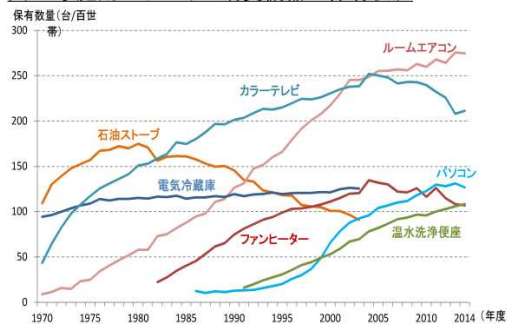
出所: 全国地球温暖化防止活動推進センター

図4: 日本のエネルギー使用量の推移



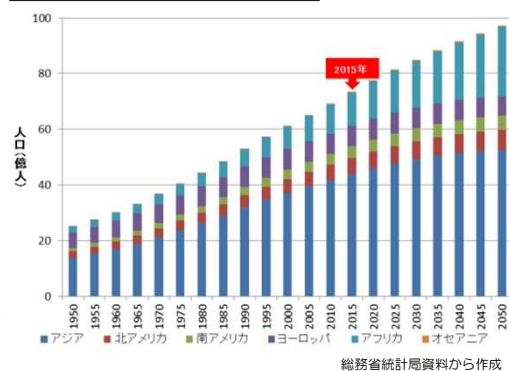
出所: 資源エネルギー庁

図5: 家庭用エネルギー消費機器の保有状況



(注) カラーテレビのうち、ブラウン管テレビは2012年度調査で終了。
出典: 内閣府「消費動向調査(二人以上の世帯)」を基に作成

図6: 世界の人口推移(1950-2050)



総務省統計局資料から作成

参考情報

京都議定書に代わる温室効果ガス削減のための新たな国際ルールとして「パリ協定」が2016年12月に採択され、産業革命前からの気温上昇を2度より低く抑えること等が目標とされました。先進国のみに温室効果ガスの削減を義務づけた京都議定書と違い、全ての国が削減目標を自主的に作成・報告し、達成に向けた国内対策を取ることが義務づけられました。

4

影響をしっかりと考えた買い物で社会と未来が変わる！？

買い物をするとき、あなたは何を重視して商品を選んでいきますか？価格、機能・品質、安全性という人は多いと思いますが(図7)、もし、「商品やサービスが環境に与える影響」や「企業の経営方針や社会貢献活動」を意識して商品等を選ぶ人がもっと増えれば、環境や社会がもっと良くなると思いませんか。

家計消費(=消費者が支出する消費額の総額)は、2015年現在約285兆円で、経済全体(日本のGDP(=日本で生み出されたものへの合計)=約499兆円)の約6割を占めています(図8)。消費者が、環境や人・社会に配慮した買い物をすれば、企業は環境や人・社会に配慮した商品の生産、流通を拡大します(図9)。消費者の行動で、社会や未来を変えていける可能性があるのです。

図7: 商品やサービスを選ぶときの鳥取県民の意識

問: あなたは、商品やサービスを選ぶとき、次の項目をどのくらい意識しますか(※複数選択可)

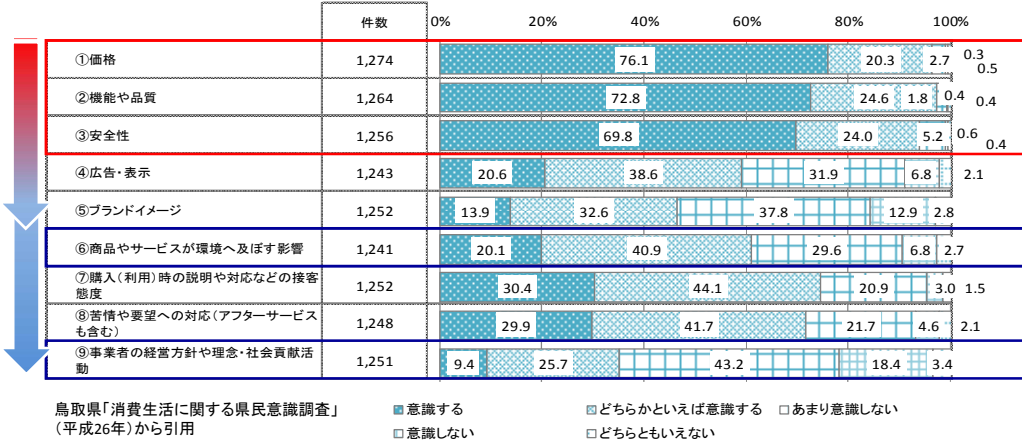
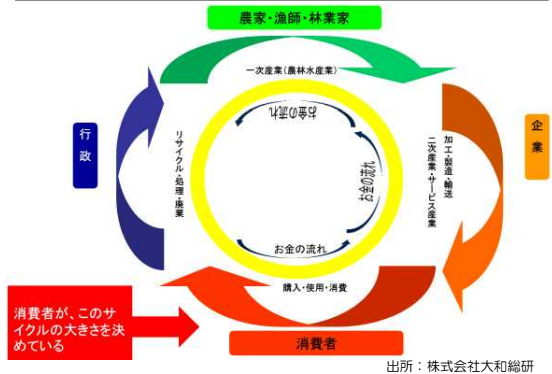


図8: GDPに占める家計消費の割合



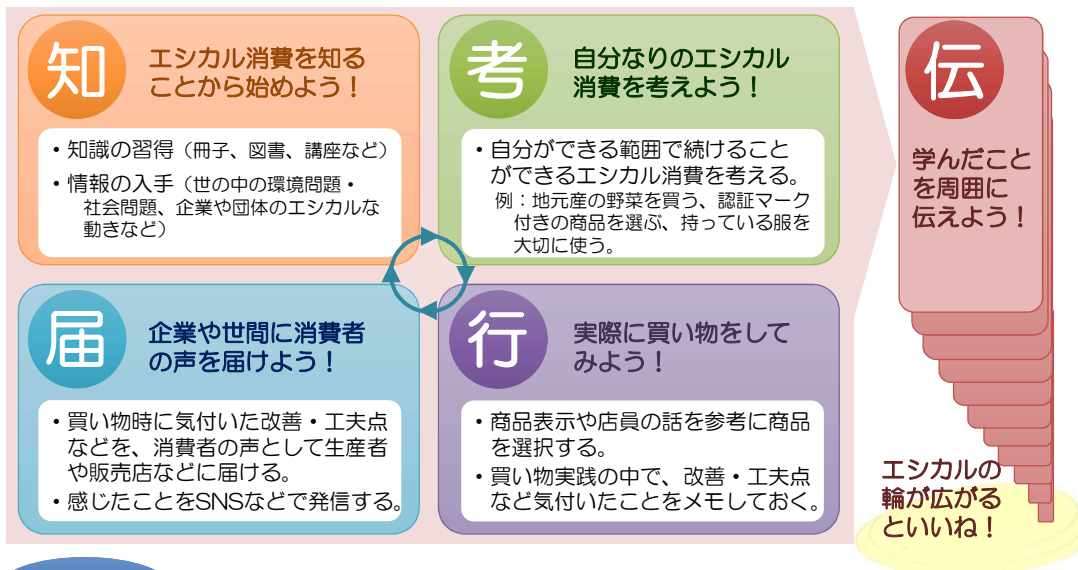
図9: 大量生産・大量消費・大量廃棄の社会と消費者の責任



5

エシカル消費って、 どうすればいいの？

エシカル消費って、なんとなく分かったけど、何から始めれば良いの??
 まずは、エシカル消費の基本情報を知ることから始めましょう。冊子や図書を読んだり、講座を受講するのも良いと思います。
 次に、自分なりのエシカル消費を考えてみましょう。環境や社会にやさしくても、エシカルな商品だけを買うことは、日常の生活では困難です。自分のできる範囲で、できることを考えてみましょう。ふだんから「これってエシカルなの?」と、問題意識をもつことも大切です。
 その上で、学んだり考えたことを活かして、実際に買い物をしてみましょう。商品の表示を見たり、お店の人に商品の情報を聞いてみるのも良いでしょう。
 実際に行動する中で、感じたことを世間に発信したり、「もっとこうなると良いなあ」といった声を、生産企業や販売店などに届けるのも良いと思います。



ポイント

エシカル消費には正解はありません。その捉え方は、個人によって違いますし、場所と時代によっても違ってきます。世の中の課題や問題は、日々変化していますので、日頃からこうした情報に関心を持ち、問題意識をもってエシカルなアプローチを続けていくことが大切です。自分が学んだり考えたりしたことを周囲に伝え、エシカルの輪が広がると社会が変わるのではないのでしょうか。

認証ラベルやマークの例

[エコマーク]



「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められたもの。

[FSC認証]



適切に管理された森林からの木材・木材製品であると認められたもの。

[RSPO認証]



熱帯林の保全、生息生物の多様性、人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼさない適切な農園管理で生産されたパーム油であることを示すもの。

[レインフォレスト・アライアンス認証]



熱帯雨林で生産されるコーヒー、カカオ、バナナなどの農産物を対象に、地球環境や動植物への配慮がされていることを認めるもの。

[有機JAS認証]



農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された食品を示すもの。

[MSC認証]



持続可能で、環境に配慮した漁業により獲られた水産物であることを示すもの。

[GOTS認証]



オーガニックコットンであることと同時に、加工過程でも環境負荷の少ない方法がとられている事を証明するもの。

[国際フェアトレード認証]



開発途上国の生産者への適正価格の保証や、人権・環境に配慮した基準が守られていることを示すもの。

[とっとりふるさと認証]



県内工場で製造され、原則、食品添加物を使用していない加工食品で、次のいずれかのもので、

県産農林水産物を原材料に使用（重量割合原則50%以上）、地域に伝わる伝統的製法で製造、県独自の新技术を使用

6

鳥取県のエシカル消費啓発の取組み

鳥取県では、エシカル消費の普及を進めるため、イベント・啓発講座の開催等を行っています。

～将来の賢い消費者を育てるために～

■ 子ども「エシカル・ラボ」の開催 [H28.8.1～8.4]

小学校4年生～6年生を対象に、エシカル消費をテーマとした、夏休みの自由研究にも活用できる講座を、県内3地区で開催しました。

参加前、エシカル消費のことを全く知らなかった子どもたちも、講座を受け、生産現場などの取材や、新聞づくりを行う中で、エシカル消費を理解し、その大切さを学びました。エ：影響を、シ：しっかりと、カル：考える」という言葉も覚ええました。



【基礎講座】



【新聞テーマの設定】



【生産現場などでの取材】



【新聞づくり】

～エシカル商品を多くのかたに知ってもらい、適切な評価につなげるために～

■ とっとり「エシカル・マルシェ」の開催 [H28.7.22～23, 10.22～23, 11.3]

エシカル消費の普及、県産エシカル商品の周知と適切な評価を進めるため、県産エシカル商品の産品市を、3つの大規模イベント会場内で開催しました。多くのかたが来場され、商品の購入やクイズラリーへの参加を通じて、「エシカル」を知っていただきました。



～エシカル消費を知り、実践していただくために～

■ エシカル消費啓発講座の開催、普及のための広報

エシカル消費を多くのかたに知っていただくため、啓発講座の開催や広報を実施しています。出前講座に講師派遣も行っていますので、ご希望の場合は、裏表紙の連絡先までお申し込みください。



H28.8.1 暮らしの経済・法律講座



H27.10.30 エシカル消費啓発シンポジウム



H27.9.29・30
エシカル消費地区別研修会

7

おわりに

消費者には、単に自分の利益だけではなく、また日本国内だけにとどまらず、国境を越えた他国の人々や、時間を越えた子孫のことまでも考慮した商品選択を行うことが、今、求められています。

商品の生産者・販売者である企業だけでなく、消費者にも環境への配慮や、社会への配慮といった社会的な責任があると言えます。

商品やサービスを選択するその瞬間こそが、消費者が世界を変える瞬間であり、エシカルな消費を心がけることにより、これまでより、地球環境、人や社会、地域に配慮された商品やサービスが市場で競争力を持つようになり、社会と未来を持続可能な方向に動かすことができるのです。

このテキストを読んでいたいただいたことをきっかけに、エシカル消費やエシカルな商品にもっと関心・理解を深めていただき、皆さんが少しずつエシカル消費を実践していただくことが大切だと思います。

鳥取県にエシカル消費が定着し、商品を作る人も、売る人も、買う人も、地球の自然も、みんなハッピー！になることを願っています。



エ いきょうを
シ っかり
カ んがえ ル

お問合せ先

鳥取県生活環境部くらしの安心局消費生活センター

本 部 〒683-0043 米子市末広町294

電話：0859-34-2765 FAX：0859-34-2670

電子メール：shohiseikatsu@pref.tottori.jp

東部駐在 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

電話：0857-26-7186 FAX：0857-26-8171